

製品名: EAAT1 (14Y4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10263**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:500,ICC/IF 1:20-1:50
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC1A3
別名	EA6; EAAT1; GLAST1; Slc1a3;
遺伝子 ID	6507.0
SwissProt ID	P43003
免疫原	ヒト EAAT1 の合成ペプチド

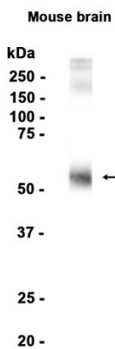
背景

EAAT1 は、反応性アストロサイトおよび活性化ミクログリアが EAAT2 ではなく EAAT1 を発現することから、虚血後に神経保護作用

を示す可能性がある。ナトリウム依存性の高親和性アミノ酸トランスポーターであり、L-グルタミン酸、L-アスパラギン酸、およびD-アスパラギン酸の取り込みを媒介する (PubMed:7521911、PubMed:8123008、PubMed:20477940、PubMed:26690923、PubMed:28032905、PubMed:28424515)。1つのアミノ酸分子を2つまたは3つのNa(+)イオンおよび1つのプロトンと共に輸送し、同時に1つのK(+)イオンを対向輸送する共輸送体として機能する (PubMed:20477940)。アミノ酸輸送とは関連しないCl(-)フラックスを媒介する。これにより、アスパラギン酸とNa(+)共輸送による負電荷の蓄積が回避されます (PubMed:20477940)。放出されたグルタミン酸をシナプス間隙から速やかに除去する役割も担っており、これはグルタミン酸のシナプス後作用を終結させる上で不可欠です (類似性による)。

研究分野

画像データ



RM5274 を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンプロット分析しました。